

調達管理番号：20a00185

国名：ラオス

担当部署：社会基盤部 資源・エネルギーグループ 第一チーム

案件名：電力の質向上プロジェクト詳細計画策定調査（グリッドコード  
／系統連系（発電（含む再生可能エネルギー等の分散型電源））

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：グリッドコード／系統連系（発電（含む再生可能エネルギー等の分散型電源））
- (2) 格付：3号
- (3) 業務の種類：調査団参团

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2020年7月上旬から2020年9月下旬
- (2) 業務 M/M：現地 0.7M/M、国内 0.5M/M、合計 1.2M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	21日	5日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：6月10日（水）（12時まで）
- (4) 提出方法：電子データのみ

➤ 専用アドレス（[e-propo@jica.go.jp](mailto:e-propo@jica.go.jp)）

◇ 提出方法等の詳細については JICA ホームページ内の以下をご覧ください。

業務実施契約（単独型）公示にかかる競争手続き（PDF/352KB）

[https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/competition\\_2020.pdf](https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/competition_2020.pdf)

なお、JICA 本部 1 階調達・派遣業務部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

◇ 評価結果の通知：2020年6月23日（火）までに個別通知  
➤ 提出されたプロポーザルを JICA で評価・選考の上、契約交渉順位を決定します。

#### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
  - ① 業務実施の基本方針 16点
  - ② 業務実施上のバックアップ体制 4点
- (2) 業務従事者の経験能力等：
  - ① 類似業務の経験 40点
  - ② 対象国又は同類似地域での業務経験 8点
  - ③ 語学力 16点
  - ④ その他学位、資格等 16点

(計 100 点)

類似業務	グリッドコード／系統連系（発電（含む再生可能エネルギー等の分散型電源））にかかる各種業務
対象国／類似地域	東南アジア地域／全途上国
語学の種類	英語

#### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：特になし

#### 6. 業務の背景

ラオス人民民主共和国（以下「ラオス国」という）は豊富な水力資源を活用した電力輸出を外貨獲得のための大きな柱として位置付けている。現在、隣国への電力輸出は、国内系統から独立した輸出専用電源線を介して行われているが、急増する余剰電力を最適且つ柔軟に国内・隣国間で融通するため、ラオス国政府は、国内系統と隣国電力系統とを連系させる「System to System 連系体制（以下「SS 連系」という）」の実現を目指している。これに必要な長期系統計画策定等を支援するため、JICA は、「電力系統マスタープラン策定プロジェクト（2020）（以下「系統 MP」という）」を実施した。系統 MP では、SS 連系に必要な一連の施策をロードマップ（以下「RM」という）として整理し、優先的に取り組むべき課題を提示した。ラオス国政府は、SS 連系に必要な一連の施策を RM において喫緊の課題として、系統システム全体を適切に運用するためのグリッドコード（以下「GC」という）の改善及び系統連系／計画運用能力の向上を目的とした技術協力プロジェクトを要請した。

本詳細計画策定調査業務では、ラオス国での現地調査等を通して要請内容詳細を確認するとともに、系統システム全体を適切に運用するために必要となる系統連系／計画運用能力強化を目的とした技術協力プロジェクト（本プロジェクト）の詳細計画を検討するものである。

## 7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、系統 MP の提言及び電力セクターの現況を踏まえ、特に、GC／系統連系（発電（含む再生可能エネルギー等の分散型電源））の観点から、本プロジェクト実施によるラオス政府関係機関の GC 改善及び能力向上を効果的に進めるためのスコープ、アプローチ等の検討を行う。また、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の業務従事者や他団員として派遣される JICA 職員等と協議・調整しつつ、担当分野に関する技術協力計画策定のために必要な調査を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

- (1) 国内準備期間（2020年7月上旬）
  - ① 要請の背景・内容を把握（要請書・関連報告書等の資料・情報の収集・分析）
  - ② ラオス電力分野、特に系統連系（発電（含む再生可能エネルギー等の分散型電源））に関する GC 及びその運用等の最新状況、課題等を分析する。
  - ③ 現地調査で訪問すべき機関や、協議・収集すべき情報等を検討する。
  - ④ ラオス国側関係機関（C/P 機関等）に対する質問票（案）（英文）を作成する。質問票は JICA ラオス事務所を通じて事前配布する。
  - ⑤ プロジェクトの PDM（Project Design Matrix）案（和文・英文）、PO（Plan of Operations）案（和文・英文）を検討する。
  - ⑥ JICA が作成する対処方針案の作成に協力するとともに、現地業務報告書の骨子案を作成する。
  - ⑦ 調査団打ち合わせ、対処方針会議等に参加する。
- (2) 現地業務期間（2020年7月中旬～8月上旬）
  - ① JICA ラオス事務所、ラオス国側関係機関との協議に参加するとともに、質問票の回収・分析並びに上記（1）②の結果も考慮し、マスタープラン（以下「MP」という）の実施状況、特に、系統連系（発電（含む再生可能エネルギー等の分散型電源））の観点からレビューし、優先課題の分析を行う。
  - ② ドナー等の関係機関の動向を把握する。

- ③ ラオス国側関係機関のプロジェクト実施体制を確認する。
- ④ プロジェクトの目標、協力方法（アプローチ）、スコープ、体制等基本計画を検討するため、簡易なキャパシティ・アセスメントを行う。その結果を踏まえて、PDM 案（和文・英文）、PO 案（和文・英文）の作成に協力する。
- ⑤ C/P との協議で合意された内容について、討議議事録（R/D : Record of Discussions）（案）（英文）及び M/M（案）（英文）の取りまとめに協力する。
- ⑥ 評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表（案）（和文・英文）の作成に協力する。
- ⑦ グリッドコード／系統計画／運用団員と調整しつつ、担当分野にかかる現地調査報告書をまとめる。

(3) 帰国後整理期間（2020 年 8 月中旬）

- ① 収集資料の整理・分析（収集資料リスト作成や、質問票回答の取りまとめも含む）を行うとともに、現地調査報告書を改定する。
- ② 帰国報告会、国内打合せに出席し、担当業務に係る調査結果を報告する。
- ③ グリッドコード／系統計画／運用団員と調整しつつ、担当分野に係る詳細計画調査報告書（案）の作成を支援するとともに、全体の詳細計画策定調査報告書（案）の取りまとめに協力する。

## 8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

(1) 業務完了報告書（和文 1 部及び電子データ）

2020 年 8 月 31 日までに提出。

担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）（和文）を添付し、電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、以下 URL の「業務実施契約（単独型）に係る見積書について」を参照願います。

[https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/estimate\\_2020.pdf](https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/estimate_2020.pdf)

留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。

航空経路は、日本⇒タイ（バンコク）⇒ラオス（ビエンチャン）⇒タイ（バンコク）⇒日本を標準とします。

- (2) 臨時会計役の委嘱  
なし

## 10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地業務期間は2020年7月19日～8月8日を予定しています。

JICAの調査団員は概ね一週間程度遅れて現地調査に参加する予定です。すなわち、本業務従事者及びグリッドコード／系統計画／運用団員が単独で現地調査を行う期間があります。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大を抑制する目的で、現在ラオス国への渡航制限措置が取られています。上記現地業務期間に亘り同措置が継続する見通しが濃厚な場合は、契約交渉で双方協議の上、①現地業務を国内業務に振替える（国内振替ケース）或いは②渡航制限措置が緩和されるまで契約締結を延期する（延期ケース）こととします。いずれのケースでも、所定の成果を達成することを前提とし契約を締結します。コンサルタントは、プロポーザルにおいて、上記①のケースを想定して、現地業務を国内業務に振替えて実施する具体的な方法についても提案するようにしてください。その際、MMについては、現地業務分に相当する量を国内業務に充当することとします。

また、上記②の場合、現地渡航日程は、JICA及びコンサルタント双方の協議により調整することとします。なお、このような状況に鑑み、コンサルタントは本事業と同一時期に行われる他の公示案件に対して応募をすることが可能です。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 協力計画（JICA）
- ウ) 事業評価／能力開発（JICA）
- エ) グリッドコード／系統計画／運用（JICAが別途契約するコンサルタント）
- オ) グリッドコード／系統連系（発電（含む再生可能エネルギー等の分散型電源））（コンサルタント）※本業務従事者

③ 便宜供与内容

JICA 関係ラオス事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎：あり
- イ) 宿舎手配：あり
- ウ) 車両借上げ：全行程に対する移動車両の提供。但し、JICA 職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。
- エ) 通 訊 備 上：なし
- オ) 現地日程のアレンジ：JICA がアレンジします。但し、訪問先候補等適宜情報提供をお願いします。
- カ) 執務スペースの提供：なし

## (2) 参考資料

- ① 本業務に関する以下の資料が、JICA 図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・「ラオス国電力システムマスタープラン策定プロジェクト ファイナルレポート」

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000042608.html>

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000042609.html>

- ② 本業務に関する以下の資料を JICA 社会基盤部資源・エネルギーグループ (Email : ilgne@jica.go.jp) にて配布します。

- ・ 要請書
- ・ 案件概要表 (案)

- ③ 本契約に関する以下の資料を当機構調達・派遣業務部契約第一課にて配布します。配布を希望される方は、代表アドレス ([outm1@jica.go.jp](mailto:outm1@jica.go.jp)) 宛に、以下のとおりメールをお送りください。

ア) 提供資料：「独立行政法人国際協力機構情報セキュリティ管理規程」及び「情報セキュリティ管理細則」

イ) 提供依頼メール

- ・ タイトル：「配布依頼：情報セキュリティ関連資料」

- ・ 本 文：以下の同意文を含めてください。

「標記資料を受理した場合、プロポーザル作成に必要な範囲を超えての使用、複製及び第三者への提供は行わず、プロポーザル提出辞退後もしくは失注後に速やかに廃棄することに同意します。」

## (3) その他

- ① 業務実施契約 (単独型) については、単独 (1 名) の業務従事者の提案を

求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

- ② 現地業務期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA ラオス事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地業務の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地業務中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。なお、現地業務に先立ち外務省「たびレジ」に渡航予定の業務従事者を登録してください。
- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」（<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>）の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口または JICA 担当者に速やかに相談してください。
- ④ 本業務にかかる契約は「業務の完了を約しその対価を支払う」と規定する約款を適用し、国外での役務提供にかかる対価について消費税を不課税とすることを想定しています。

以上